

料理研究家 浜内千波先生のレシピ

ミルクソース・ミルクプリン

このレシピに使用している商品
明治おいしい牛乳



〈材料〉4人分

【ミルクソース】(作りやすい分量)

明治おいしい牛乳…… 400ml
砂糖…… 大さじ4

【プリン】(4つ分)

卵…… 2個
明治おいしい牛乳…… 250ml
砂糖…… 大さじ2

作り方

ミルクプリン

STEP 1

ボウルに卵を割り、砂糖、牛乳を入れよく混ぜ、ざるで濾し器に入れる。

STEP 2

鍋に器の1/3程度まで水を入れ、1を置き、キッチンペーパーをのせ蓋をする。固まるまで加熱し(中火弱で5,6分程)、冷蔵庫で冷やす。一緒にご紹介するミルクソースをかけて、さらにおいしさアップです。

ミルクソース

STEP 3

鍋に牛乳、砂糖を入れ、中火強で1/4量になるまで、時々混ぜながら煮詰める。

Point

ミルクソースは、砂糖と一緒に煮詰めることで、とろみが付き、保存性にも優れます。甘味付けとしてコーヒーやスイートポテト、隠し味としてシチューに、ジャムとしてサンドウィッチやパンケーキにも使えます。

このレシピはスマートフォンからもご覧いただけます。



明治おいしい牛乳を使ったレシピはこちらから

明治 牛乳を使ったレシピ

検索

明日をもっとおいしく

meiji

株主のみなさまへ

第9期 報告書

2017年4月1日～2018年3月31日



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



PROJECT- With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT- With the Earthを通じてオフセット(相殺)しています。

明治ホールディングス株式会社



明治ホールディングス株式会社
代表取締役会長 松尾 正彦



明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長 川村 和夫

食品から医薬品まで、 幅広い分野で貢献する ユニークな企業グループを目指して

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、2018年3月31日をもちまして、第9期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業等の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、2015-2017年度グループ中期経営計画「STEP UP 17」の最終年度を迎え、重点テーマ「成長の加速とさらなる収益性向上」に基づき、「優位事業の強化と新たな成長への挑戦」「環境変化に対応する収益力の強化」「グローバル展開の推進」「経営基盤の進化」に向けた取り組みを進めました。

食品セグメントでは、引き続きコア商品の売上成長を図るとともに、生産・物流・販売の効率化とコスト削減に努め、着実な成長に向けた取り組みを進めました。

医薬品セグメントでは、感染症治療薬・中枢神経系用薬の重点領域に経営資源を集中し、売上高・利益の最大化に努めました。

この結果、当期の売上高は 1兆2,408億円(前期比0.1%減)、営業利益は 946億円(同7.1%増)、経常利益は 958億

円(同7.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 612億円(同0.8%増)となりました。また、ROEは13.1%、1株当たり当期純利益は422.15円となりました。

当社グループは、グループ創業100年を超え、新たな成長ステージを目指す現在、明治グループ2026ビジョン「Beyond meiji～想像以上の明治へ～」を策定いたしました。2026年に目指す姿を、「明治グループ100年で培った強みに、新たな技術や知見を取り入れて、「食と健康」で一步先を行く価値を創造し、日本、世界で成長し続ける」と掲げ、「コア事業での圧倒的優位性の獲得」「海外市場での成長基盤の確立」「健康価値領域での新たな挑戦」「社会課題への貢献」の4つの重点方針のもと、今まで以上に外部リソースの活用や革新的な生産性の向上を推進しながら、目指す姿の実現に努めてまいります。

なお、当期の配当金については、期末配当金を1株当たり72円50銭とさせていただきます。

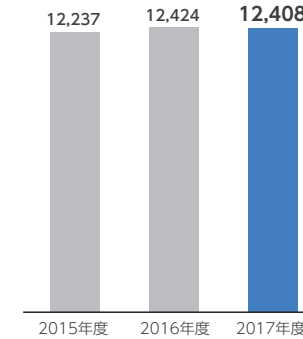
この結果、年間配当額は中間配当金と合わせて1株当たり130円、連結配当性向は30.8%となります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

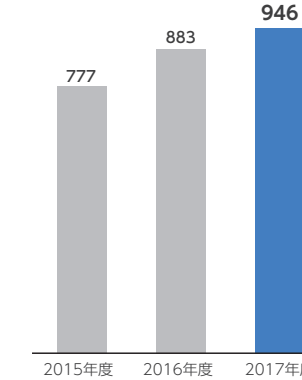
売上高

(単位：億円)



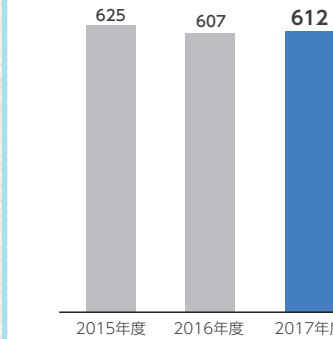
営業利益

(単位：億円)



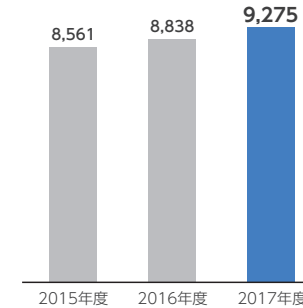
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)



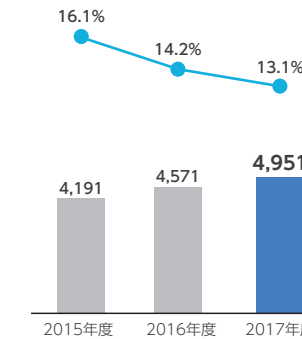
総資産

(単位：億円)



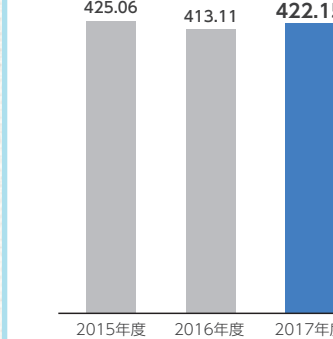
純資産・ROE

純資産 (単位：億円) ROE (単位：%)

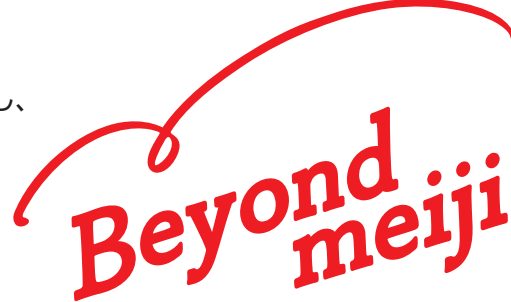


1株当たり当期純利益

(単位：円)



明治グループが移り変わる環境下でグループ理念を体現し、日本・世界で成長し続けるために、中長期的に目指すべき企業グループ像として明治グループ2026ビジョン「Beyond meiji～想像以上の明治へ～」を策定しました。2020中計、2023中計、2026中計の3回の中期経営計画で本ビジョンの実現を目指してまいります。



想像以上の明治へ

目指す企業グループ像

明治グループ100年で培った強みに、新たな技術や知見を取り入れて、「食と健康」で一步先を行く価値を創造し、日本、世界で成長し続ける。

目標水準

ステークホルダーの期待に応え、持続的な成長を果たしている水準として

営業利益成長率 1桁台半ば以上 (年平均 ^{※1})	海外売上高比率 20%を目指す	ROE ^{※2} 10%以上 を維持
--	--------------------	-----------------------------------

※1 単年ベースではなく、2026年度までに増やす営業利益額の年平均
※2 ROE(自己資本当期純利益率)=当期純利益÷期首・期末平均自己資本

重点方針

- 1 コア事業での圧倒的優位性の獲得
- 2 海外市場での成長基盤の確立
- 3 健康価値領域での新たな挑戦
- 4 社会課題への貢献

*推進にあたって～従来以上に重視すべきポイント～

- 外部リソースの積極的な活用
- 革新的な生産性の向上
- 挑戦への後押しとダイバーシティ推進

明治グループ2026ビジョン 「Beyond meiji ～想像以上の明治へ～」

STEP UP 17
(2015～2017年度)

2020中計
(2018～2020年度)

2023中計
(2021～2023年度)

2026中計
(2024～2026年度)

「Beyond meiji」第1ステージ

明治グループ2020中期経営計画

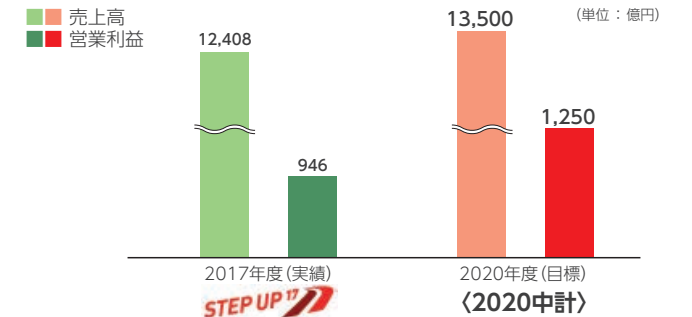
基本コンセプト 「継続的戦略課題への取り組み」と「成長に向けた新たな挑戦」

重点方針

- 1 コア事業での高シェア・高収益の実現
- 2 海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大
- 3 健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け
- 4 構造改革の継続的な実行と個別事業課題の克服
- 5 経営基盤の進化とCSRの推進

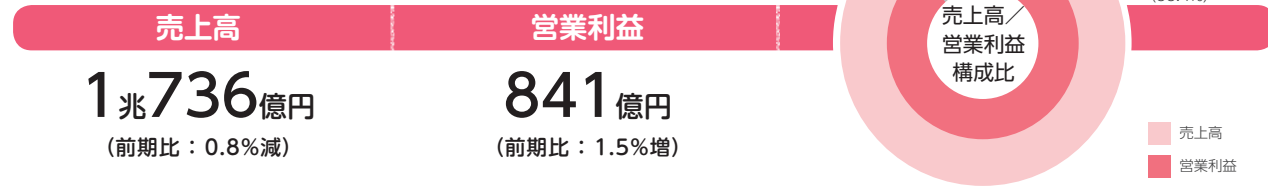
数値目標

連結	売上高	1兆3,500億円
	営業利益	1,250億円
	営業利益率	9.3%
	ROE	13%台



セグメント別概況のご報告

食品セグメント (株式会社 明治)



売上高は前期並みとなりました。栄養事業は前期を上回り、発酵デューリー事業およびその他事業は前期並みとなりましたが、加工食品事業はアイスクリームの取引制度変更の影響、菓子事業はスナック菓子の販売エリア縮小などにより前期を下回りました。

営業利益は国内外の乳原料調達コストの上昇があったものの、費用効率化の取り組みにより前期を上回りました。コスト削減の取り組みが寄与した菓子事業および主力品が伸長した栄養事業は前期を上回り、発酵デューリー事業および加工食品事業は前期並みとなりました。

発酵デューリー事業 ヨーグルト、牛乳類、飲料等

- 売上高は、「明治ブルガリアヨーグルト」が前期における大幅な市場拡大の反動により前期を下回りましたが、プロバイオティクスおよび牛乳類が前期並みとなった結果、事業全体では前期並みとなりました。
- 営業利益は、ヨーグルト減収の影響を各種費用の効率化によって補ったことで事業全体では前期並みとなりました。



加工食品事業 チーズ、バター・マーガリン、クリーム、アイスクリーム、冷凍食品等

- 売上高は、バターやマーガリンが伸長したことに加え、アイスクリームの「明治エッセルスーパーカップ Sweet's」シリーズが好調に推移しましたが、2017年4月からのアイスクリームの取引制度変更や冷凍食品の減収などの影響により事業全体では前期を下回りました。
- 営業利益は、プロダクトミックスの改善があったものの、国内乳原料などのコストアップが影響し事業全体では前期並みとなりました。



菓子事業 チョコレート、グミ、ガム等

- 売上高は、「チョコレート効果」シリーズや「明治 ザ・チョコレート」などの伸長によりチョコレートが引き続き好調に推移した一方、市場低迷の影響によりガムが大幅に減収となったことやスナック菓子「カール」の販売エリア縮小などにより事業全体では前期を下回りました。
- 営業利益は、カカオ豆等の原材料コストが前期を下回ったことに加え、販促費や物流費の削減にも取り組んだことから前期を上回りました。



栄養事業 スポーツ栄養、粉ミルク、流動食、美容、一般用医薬品等

- 売上高は、「ザバス」が競技者層に加えてスタイルアップ層への取り組みにより新規ユーザーを獲得したことや在宅栄養食の「明治メイバランスMiniカップ」シリーズの新フレーバー追加などが寄与したことで、前期を上回りました。
- 営業利益は、主力品の売上伸長に加えて各種費用の効率化により前期を上回りました。



海外事業

- 売上高は、輸出事業では粉ミルクが台湾、パキスタン、ベトナム向けが好調に推移し、海外子会社では米国子会社や中国子会社が売上高を大幅に伸長させたことなどにより前期を上回りました。
- 営業利益は、中国子会社の売上拡大や好調な輸出事業が寄与したことにより前期を上回りました。



TOPICS ～持続可能なカカオ農業を目指して～ メイジ・カカオ・サポート

世界全体でチョコレートの需要が増えている中で、おいしいチョコレート作りには欠かせない高品質なカカオ豆の安定的な調達は、極めて重要な課題です。この課題解決には、農家への生産支援が必要です。そこで(株)明治は、2009年から農家を取り巻く環境を改善することでカカオ豆の生産を支援する「メイジ・カカオ・サポート(MCS)」を始めました。



「メイジ・カカオ・サポート」の取り組み

「メイジ・カカオ・サポート」は、現在世界8カ国で展開しています。農家を取り巻く環境には、木が高齢化している、苗木や肥料が手に入りにくい、栽培技術の知識が周知されていないなど、難しい問題があります。また生産国の中には、社会インフラが十分に整備されていない地域もあります。そのため、支援内容を決める際は、(株)明治の社員が産地を訪問し、関係者と話し合っって現地のニーズをよく確認するようにしています。

例えばガーナ共和国では、栽培技術や病虫害管理などの勉強会や、苗木の供給センターの設置といったカカオ豆収穫量を増やすための活動だけでなく、井戸の整備や学校備品の寄贈などコミュニティの生活支援も行っています。また中南米諸国では、より高品質なカカオ豆を生産してもらうために、(株)明治独自の発酵法を指導しており、そのカカオ豆は「明治 ザ・チョコレート」にも使用されています。



このように「メイジ・カカオ・サポート」を通じて、農家がより多くの収入を得て、安心してカカオ農業を続けられるような環境を整えていくことで、チョコレートの主要原料であるカカオ豆生産を持続可能なものにしていきます。

World Cocoa Foundation (WCF) を通じたカカオ農家支援

(株)明治だけでできる支援には限りがあります。そこで(株)明治は、カカオ経済を持続可能なものにするために農家支援を行う世界最大級のNPOであるWCFに、2006年に加盟しました。WCFの活動はアフリカ、中南米、アジアをカバーしており、現在は100社以上が加盟しています。

(株)明治はWCFを通じて、カカオ農家の収入を増やすための活動やカカオ農園に関わる森林破壊を止めるための活動に参画していきます。



▲カカオ農家への勉強会



▲現地の子どもたちとの交流

セグメント別概況のご報告

医薬品セグメント (Meiji Seika ファルマ株式会社)



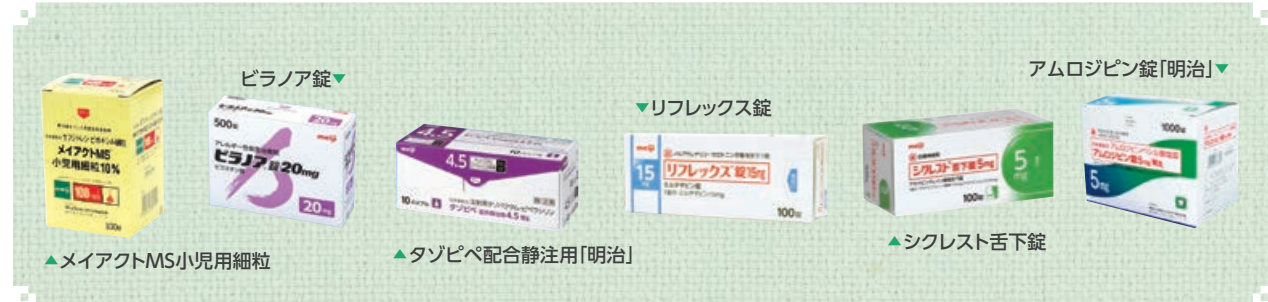
売上高は前期を上回りました。医療用医薬品事業は、国内では先発医薬品が新薬の寄与により堅調に推移し、ジェネリック医薬品事業も大幅に伸長しました。海外ではインドやインドネシアおよび中国の子会社が好調に推移しました。生物産業事業は、ライセンス契約に基づく一時金収入の寄与がありましたが、主力品の減収により前期を下回りました。

営業利益は前期を大幅に上回りました。前期に新薬普及費用が発生した反動による費用減に加え、経費削減の取り組みやライセンス契約に基づく一時金収入が寄与しました。

医療用医薬品事業

国内では、主力の抗うつ薬「リフレックス」が普及活動強化により堅調に推移したに加え、2016年度に発売した統合失調症治療薬「シクレスト」やアレルギー性疾患治療薬「ピラノア」が投薬期間制限の解除もあり大幅に伸長しました。また、ジェネリック医薬品の抗菌薬「タゾピペ配合静注用 明治」が市場におけるジェネリック化の加速や追加適応取得により大幅に伸長しました。

海外では、抗菌薬「メリアクト」の輸出販売が大幅な減収となりましたが、インドやインドネシアおよび中国の子会社は好調に推移しました。その結果、事業全体の売上高は前期を上回りました。



生物産業事業 農業・動物薬

2018年3月にアリスタ ライフサイエンス株式会社と締結した新規農業用殺虫剤「フルピリミン」のライセンス契約に伴う一時金収入があったものの、主力であるいもち病防除剤「オリゼメート」の減収が影響し売上高は前期を下回りました。



TOPICS お米作りの進歩に合わせて、いもち病防除剤「オリゼメート」も進化します。

稲作農家の高齢化が進む中、省力化の技術は日々進歩しています。これに合わせて「オリゼメート」も進化を続け、農家の負担軽減と十分な防除の両立を可能にできました。Meiji Seika ファルマはこれからも安心できるお米作りをサポートしていきます。

1975年 背負動力噴霧器	1985年 ヘリコプター	1997年 田植機	2017年 側条施肥機能付田植機
オリゼメート粒剤 〈本田水面施用〉	オリゼメート粒剤20 〈空中散布〉	Dr.オリゼ箱粒剤 〈育苗箱施用・田植と同時に散布〉	Dr.オリゼフェルテラ粒剤 〈側条施用〉

Meiji Seika ファルマは農業技術の進歩とともに、日本だけではなく世界の農業の発展に貢献していきます。

新製品のご紹介

明治THE GREEK YOGURT(100g) プレーン/砂糖0/5つの果実

明治発、ギリシャヨーグルトの本流。濃密なおいしさが味わえるだけでなく、ヨーグルトで栄養を摂るという世界の習慣を日本に提案する「高たんぱくで脂肪0」のヨーグルトです。



明治プロバイオヨーグルトLG21

「胃で働く乳酸菌」LG21乳酸菌を使用しており、毎日おいしく食べ続けて健康な生活を送ることができる商品です。

- ・まるやかプレーン(112g)
生乳と乳製品だけで作っており、糖分やカロリーの摂り過ぎを気にすることなく、お召し上がりいただけます。
- ・ドリンクタイプりんご&蜂蜜(112ml)
りんご果汁・レモン果汁、蜂蜜入りで、甘味と酸味のバランスがとれた、やさしい風味をお楽しみいただけます。



明治ブルガリアヨーグルトLB81 本場手作りスタイル(320g)

本場ブルガリアで伝統的に食べられている素焼きの壺で作ったヨーグルトをモチーフとした、コクがあってなめらかな食感とはちみつのほのかな甘さが楽しめる、あじわい深いヨーグルトです。



明治 さいておいしいモッツアレラ 4本入り ミックスピザ味



細かくふわっとさせて柔らかい、ミックスピザ味のモッツアレラチーズです。子供も大人も家族みんなでスナック感覚で楽しめます。おやつ・間食・おつまみ等、いつでも気軽に使える4本入りです。

銀座チキンカリ



スパイシーな新ブレンドのカレー粉と、銀座シリーズで最も多く炒め玉ねぎを配合して、チキンの素直なあじわいを引き立てました。

明治 4種のチーズピッツァ 2枚入

生地糖質は50%オフでありながら、たんぱく質がたっぷり20g含まれているので、健康志向のピッツァ好きの方にも楽しんでいただけます。チーズ好きにはたまらない4種チーズの濃厚ピッツァです。



明治GOLD LINE ・CACAO36% パナ ・CACAO65% チョコレート

「GOLD LINE」からカカオ分に着目したCACAOシリーズが新登場!パッケージにはチョコレートのシンボルであるカカオの実を中心に置き、チョコレートの本格感を訴求しています。



マカダミアまるやか抹茶

マカダミアナッツの風味や味わいを引き立てる、香り豊かな抹茶が再登場。まるやかなホワイトチョコレートと抹茶が合わさったクリーミーなあじわいの商品です。



チョコレート効果カカオ72% カカオニブ

愛され続けて20年、信頼の高カカオポリフェノールチョコレート。カカオの素材そのものが入り、サクサクした食感を楽しめます。1箱で約1,064mgのポリフェノールを摂取できます。



ザバス ラインアップ

ザバス ホエイプロテイン100 ・リッチショコラ味 50食分 ・香るミルク風味 50食分

理想的なカラダづくりに取り組む方々から人気の「ザバスホエイプロテイン100」に、水に溶かしてもおいしさを味わえる「リッチショコラ味」と「香るミルク風味」が新登場。しっかり濃厚おいしいプロテインです。



ザバス プロテインゼリー ・ヨーグルト風味(180g) ・グレープフルーツ風味(180g)

いつでも、どこでも、手軽にたんぱく質を摂取できるゼリータイプのプロテイン。高たんぱく、低脂肪、低糖類で朝食や間食、小腹の空いたときなどに、新しいプロテイン習慣を提案します。飲みやすい2種類の風味で新登場。



ザバス シェイプ&ビューティ 50食分

美しく引き締めるをテーマに女性に人気の「ザバスシェイプ&ビューティ」の50食分大容量タイプ。大豆プロテインを使用し、女性にうれしいコラーゲン、ビタミン・ミネラル配合。おいしいミルクティー風味です。



ザバス アミノパワープロテイン ・レモン 11本入 ・パイナップル 11本入 ・カフェオレ 11本入

いつでもどこでも飲めるスティックタイプのプロテイン。シェイク不要で水などの飲料と一緒にそのまま飲め、「パワーペプチド」「ホエイプロテイン」等オリジナル配合でカラダづくりをサポートします。



※写真はレモン11本入

ザバス MILK PROTEIN(ミルクプロテイン)脂肪0 ・クリアストロベリー(430ml) ・ミルク風味、ココア風味、バニラ風味(200ml)

理想のカラダづくりをサポートするミルクプロテインを15g配合した、運動後に飲みやすい脂肪0タイプの乳飲料です。



果汁グミとろけるふたつの果実 グレープ&マスカット

コラーゲンペプチド入りのジュレを2種類の果汁をブレンドした果汁100%グミで包みました。表面にはビタミンC入りのパウダーをまぶし、1袋で約3,200mgのコラーゲンを摂取できます。



アーモンドチョコレート カカオ70%パウチ

カカオ分70%のチョコレートで素焼きアーモンドを包みました。カリッと歯ごたえある食感とほんのり甘い香ばしいあじわいが楽しめます。1袋で4.0gの食物繊維が摂取できます。



動物用医薬品 パナメクチンチュアブル「meiji」

犬糸状虫の寄生予防と同時に犬回虫・犬鉤虫の駆除が可能な「パナメクチンチュアブル」が生まれ変わりました。国産鶏肉を使用し品質は変わらず、パッケージと製品に犬の足跡の模様を入れて可愛くりリニューアルしました。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (2017年3月31日現在)	当期 (2018年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,761	27,613
受取手形及び売掛金	183,807	195,760
商品及び製品	88,524	86,929
仕掛品	4,114	3,344
原材料及び貯蔵品	41,596	46,194
繰延税金資産	9,438	9,670
その他	25,835	23,364
貸倒引当金	△370	△202
流動資産合計	377,707	392,674
固定資産		
有形固定資産	365,986	383,962
無形固定資産	25,936	22,555
投資その他の資産	114,264	128,352
固定資産合計	506,187	534,870
資産合計	883,895	927,544
負債の部		
流動負債	314,191	294,430
固定負債	112,513	137,936
負債合計	426,704	432,367
純資産の部		
株主資本	436,011	465,595
その他の包括利益累計額	12,890	21,714
非支配株主持分	8,289	7,866
純資産合計	457,190	495,177
負債純資産合計	883,895	927,544

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (自 2016年4月 1 日 至 2017年3月31日)	当期 (自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)
売上高	1,242,480	1,240,860
売上原価	781,153	785,978
売上総利益	461,326	454,882
販売費及び一般管理費	372,931	360,208
営業利益	88,395	94,673
営業外収益	3,331	3,589
営業外費用	2,887	2,385
経常利益	88,839	95,877
特別利益	7,964	7,561
特別損失	7,611	12,358
税金等調整前当期純利益	89,192	91,079
法人税等	27,991	29,117
当期純利益	61,200	61,962
非支配株主に帰属する当期純利益	414	683
親会社株主に帰属する当期純利益	60,786	61,278

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (自 2016年4月 1 日 至 2017年3月31日)	当期 (自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,888	108,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,291	△64,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,548	△40,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	△318	1
現金及び現金同等物の増減額	△9,269	4,260
現金及び現金同等物の期首残高	31,516	22,624
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	378	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	28
現金及び現金同等物の期末残高	22,624	26,913

会社概要 / 株式の状況 (2018年3月31日現在)

■ 会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名:Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品等の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
設立	2009年(平成21年)4月1日
資本金	300億円

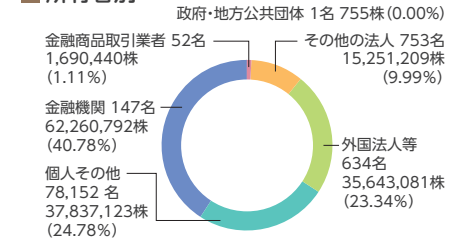
■ 役員紹介 (2018年6月28日現在)

代表取締役会長	松尾 正彦	兼務	Meiji Seika ファルマ(株) 取締役会長
代表取締役社長	川村 和夫	兼務	(株)明治 取締役 兼務 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
取締役専務執行役員	左座 理郎	兼務	(株)明治 取締役
取締役常務執行役員	塩崎浩 一郎		
取締役常務執行役員	古田 純		
取締役執行役員	岩下 秀市		
取締役	小林大吉郎	兼務	Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長
取締役	松田 克也	兼務	(株)明治 代表取締役社長
取締役(社外)	岩下 智親		
取締役(社外)	村山 徹		
取締役(社外)	松村真理子		
監査役(常勤)	松住 峰夫		
監査役(常勤)	田中 弘幸		
監査役(社外)	渡邊 肇		
監査役(社外)	安藤まこと		

■ 株式の状況

発行可能株式総数
560,000,000株
発行済株式の総数
152,683,400株
株主数
79,739名
(自社含む)

■ 所有者別



■ 大株主

(上位10名)

株主名	所有株式数(千株) ※千株未満 切捨て	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,945	7.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,943	4.55
株式会社みずほ銀行	4,617	3.02
日本生命保険相互会社	3,348	2.19
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,273	2.14
株式会社りそな銀行	3,047	2.00
農林中央金庫	2,892	1.89
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,590	1.70
明治ホールディングス取引先持株会	2,557	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,536	1.66

(注)上記の他に、当社が7,680千株(持株比率5.03%)保有しております。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日 定時株主総会3月31日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-7111(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関)となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務所拠点移転に伴い、2017年8月14日より連絡先が変更されております。

株主さまへのご優待

- 対象となる株主さま
毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま
- ご優待の内容
ご所有株式数に応じて、明治グループ製品詰合せを毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上	2,000円相当
500株以上	3,500円相当
1,000株以上	5,000円相当



3,500円相当の優待品の例です。
(実際の優待品と異なる場合があります。)

※株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体等へご寄贈いただくことも選択できる株主優待品寄贈選択制度も設けております。